

ニュースレター発刊の意図

宇都宮大学教育学部 丸 山 剛 史

このたび、宇都宮大学特定重点推進研究「外国籍の子どもの教育・生活環境をめぐる問題」研究グループ（代表・田巻松雄・国際学部教授）は、①外国籍の子どもの教育・生活問題にかかわっていらっしゃる方々をつなぐこと、②より多くの方々に問題への関心を深めていただくこ

とを企図して、ニュースレターを発刊することになりました。

ニュースレターの名称も、人と人を「つなぐ」という願いを込めて、『HANDS（ハNZ）』と名づけました。このニュースレターが関係者の取り組みに欠くことのできないものとなれたな

らば、望外の幸いです。

以下では、発刊に至った経緯をかんたんに述べてみたいと思います。そして、ニュースレターの意義をご理解いただき、今後、私たちの取り組みにご協力いただけたならありがたく存じます。

発刊の経緯

担当教員相互の交流の場となることを願って

今回の重点研究開始の経緯は、巻頭言において述べられた通りですが、今年度の研究活動の本格的な開始に際して、教育現場の外国人児童生徒指導担当教員（元担当教員含む）と大学関係者が一堂に会して研究課題について議論しました。このとき、外国人児童生徒の指導にあたる教員のネットワークづくりが重要ではないかと話し合われました。なぜなら、外国人児童生徒の指導にあっている教員は、拠点校に配置されているものの、教員相互の交流は十分ではなく、孤独な取り組みになりがちであることが明らかになってきたからです。そして、これま

で以上に交流ができたならば、指導もさらに充実するだろうと話し合われました。

そこで、「同じ思いをもっているのは自分だけではない！」など、担当教員を励ますためにニュースレターを刊行することとなりました。

ニュースレターの内容

各担当者の取り組みの紹介を中心に

ニュースレターの内容も、①担当教員（元担当教員を含む）の取り組みと取り組みの難しさとおもしろさ（やりがい）に関する文章、②私たちの研究活動の成果報告、③今後の活動の紹介を主な内容としています。特に、①を重視しており、これまで外国人児童生徒の指導にあたってこられた方々の取り組み及び指導にかける思いに関する文章を可能な限り集めて、前述の目的を達成したいと考えております。また、このニュースレターに掲載することにより、県内の取り組みを記録として残していきたいとも考えております。そして、今後の栃木県教育の発展の糧となれば幸いに存じます。